

広報

とめ

良い年を願い
気持ちを込めて

「浅水小ふるさとを知る会・
しめ縄作り体験 (12/14)」



JANUARY 2007

1

No.43

主な内容

- 新年のあいさつ
- 特集「わたしたちの夢・未来」
- 市ブランド認証マークが決定
- 宝くじ助成でイベント用品整備
- 水道週間作品コンテスト結果
- 9町トピックス
- 市民の広場
- 市からのお知らせ・暮らしの情報

迎春



登米市議会議長
千葉 清 昭



登米市長
布施 孝 尚

積極的な情報発信と スピード感ある市政運営を

明けましておめでとうございます。市民皆さまにおかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、市政に対して深いご理解と多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。市民皆さまのお力添えをいただき、まちづくりの基本方針を示す「登米市総合計画」、そして、地方分権に対応する行財政運営に向けた「登米市行財政改革大綱」を策定することができました。また、市の骨格となるそのほかの計画なども策定することができ、市民皆さまとともに登米市として独自に歩み始めることができた年になったといえます。

特に、廃食油を再利用したバイオ・ディーゼル燃料（BDF）推進事業では、市民、企業、民間団体、社会福祉法人や行政が、できる範囲の役割をそれぞれで担い、それが効果的に機能したことで、協働の事業として非常に意義深い取り組みになったと考えております。環境保全はもちろんのこと、障害者の自立支援や公用車への使用による財政負担の軽減など、高い相乗効果が発揮できた事業となり、ご協力をいただいた皆さまに改めて厚くお礼申し上げます。

さて、地方行政を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。国庫補助・負担金、地方交付税改革と税源移譲による、いわゆる三位一体改革では、結果的に地方の歳入が大幅な減額となり、来年度以降さらに逼迫

した財政運営を強いられる見込みであります。また、来年度から始まる農政の一大変革といわれる「経営所得安定対策」への取り組みや地域医療の問題、さらに子どもたちの教育環境の整備など、重要な諸課題も山積しております。同時に、市民皆さまから寄せられる要望も多様かつ複雑化してきております。

昨年は財政破たんした自治体もありましたが、それを反面教師として限られた財源を有効に活用し、「身の丈にあった行政」を行うことが、持続的な発展につながる唯一の選択肢であると肝に銘じているところであります。そのためにも、市が持っている情報を積極的に発信し、市民皆さまと共有すること、従来の手法にこだわらない「協働のまちづくり」の観点で、スピード感のある市政運営が必要であると考えています。また、高次医療の問題、高速幹線道路網の整備や国と地方の役割分担など、わが市だけでは解決が難しい課題につきましても、関係する自治体と連携し、国や県に強く働きかけてまいります。

この一年は、市政運営の転換期と位置付け、重要な局面を迎えていると認識し、職員の間で、意識や対応力を向上させながら「夢・大地みんなが愛する水の里」の実現に向けて、諸施策を強力に進めてまいっている覚悟でございます。

本年が皆さまにとって、より良い一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

総合計画実現に向けて 合併効果が表れる年に

明けましておめでとうございます。輝かしい2007年の新春を迎えられましたこと、市議会を代表して心からお祝いを申し上げます。

皆さまの大きな夢と希望を乗せてスタートした登米市も、まもなく3回目の新年度を迎えようとしています。今年も皆さまにとって良い年でありますように願っております。

さて、今わが国の経済は、バブル崩壊後の長い低迷期を脱して、かつての「いざなぎ景気」を上回る、戦後最長の景気拡大期間が続いているといわれています。事実、国税収入の伸びを背景に、本年度から2年連続で国債発行額を4兆円余りも減額すると報じられたことは、皆さま周知のとおりであります。

しかし、わたしたち地方に住んでいる者や自治体行政に携わっている者にとつては、まるで実感のない話であります。それどころか、以前より苦しくなったと感じている人がほとんどではないかと思われまます。国が進めた急速な規制緩和は、さまざまなひずみと格差拡大社会を生み出しており、中央と地方、都市と農村ばかりではなく、国民所得の上でも富裕層と貧困層の二極分化が進んでいます。

登米市の財政も合併以来、厳しい状況が続いております。地方交付税や国庫負担金の減額は、税源移譲分の増額と相殺しても、3年間で51億円余りに上るものと見込まれており、当面は財政調整基金の取り崩しなどによる財

政運営をしていかなければならないと考えられます。

こうした苦しい台所事情の中で、市ではこれから10年間の市政の指針となる、登米市総合計画を策定しました。この計画は、今後市が行う事業の中で上位計画となるもので、財政とのバランスを取りながら実施していくこととなります。今年度は合併4事業の一つである消防防災センター工事に着手し、新年度からは畜場の改築工事を予定しております。両事業とも登米地域にとって長年の懸案事項であり、ようやく実現の運びとなったことは、苦しいながらも合併効果が表れたといつてもいいものだと思います。

ただ、市長の提唱する「健康、安全・安心なまちづくり」の根幹ともいうべき、市立病院の再編を含む地域医療体制の確立については、議会でも調査特別委員会を設置して検討中であり、現在市が抱える最大の課題となっております。さらに、農政関係では新年度から始まる戦後の農地改革以来の大転換といわれている、農業経営所得安定対策への取り組みなど、難題は山積みされています。

わたしたち議員も、機会あるごとに市民皆さまのご意見をお聞きしながら、「夢・大地みんなが愛する水の里」の実現に向かってまい進する所存ですので、皆さまのお一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

やるときはやる 母のような人 になりたい

佐藤 美紗子さん

石越町第十区・23歳（会社員）

「自分の夢は？」と質問されたとき、はっきり言って全然思いつきませんでした。学生のころとは違い、現実味のない話はなかなか口にできなくなっていました。しかし、今回あらためて「自分の夢は何だろう」と考えたとき、夢というよりも「目標」と思えるものがありました。

一つ目は仕事です。最近はとても忙しく、覚えることがたくさんあり、すごく辛い気持ちになっています。それでも職場の先輩などに、自分の仕事の合間に一緒に考えてもらったり、手伝ってもらったりして、大変助かっています。その人たちの期待に応えられるよう、一生懸命頑張って勉強しなければいけないと思っています。

二つ目は友達です。過去を振り返ると今までいつも同じメンバーで遊んでいました。新しい友達も大切ですが、昔からの友達が自分にとってすごく大きな存在で、いつも支えてもらってきたことに気付きました。そんな友達とこれからずっと、このままの関係でいられたらいいなと願っています。

三つ目は母です。一緒に映画を見たり、買物に行ったりする友達のような母です。仕事に関しても責任感がありとてもまじめなので、母を尊敬しています。わたしも遊ぶときは遊ぶ、やるときはやる、母のような人になりたいと思っています。



佐藤 雄亮くん

豊里町横町・11歳（豊里小5年）

ぼくの夢は習字の先生になることです。ぼくは、3年生まで字をきれいに書くことができず、わくからはみ出してばかりいました。そのころのぼくには、字をていねいに書こうという気持ちさえなかったのです。

そんなぼくは、3年生から習字教室に入りました。練習のときには、足がしびれてもがまんして、ていねいに書くようにしました。すると、4年生ころからだんだんうまく書けるようになり、今は字の形がととのってきました。習字教室の先生からも、「少しずつ成長してきているね」といわれています。だから、ぼくはふだんの授業でノートに書くときにも、きれいな字で書くように心がけています。字を書くときは、はねの方向をしっかりと考えて書いたり、中心線を意識して書いたりしています。

字をきれいに書くと、本当に気持ちが良くなります。晴れた空のように心がすっきりします。友達や先生から字をほめられると、自信もわいてきます。

字をきれいに書くということは、自分をみがくということです。ぼくはこれからも字をきれいに書いて、まっすぐな「たてま」のように素直な人間になりたいです。そして、いつの日か習字を教える先生になって、字をきれいに書くことの大切さ、すばらしさをたくさんの人に伝えていきたいと思っています。

習字の先生に なって字の大切 さを伝えたい

一人で新幹線に 乗って東京のい とこのところへ

塚本 絵美さん

登米町後舟橋・11歳（登米小5年）

わたしが今年頑張りたいことは、算数と英語と習字です。算数と英語は、学習じゅくに通って勉強をしています。算数はE段階まで進んでいますが、G段階まで進みたいと思っています。英語はまだ始めたばかりなので、E段階まで進むことができればいいなと思っています。

習字は、習い始めて3年になります。でも、まだ優級なので今年は一先けん命練習して、できれば三段になりたいと思います。

学校生活は、小学校最後の学年になります。勉強や運動はもちろんのこと、いろいろな行事に積極的に参加して、下級生の面どうをしつかりと見たいと思っています。

家ではまず、勉強を自分から進んでやりたいと思います。それから、お母さんやお父さんが帰ってくる前に、自分でできるお手伝いをやりたいと思います。

最後に、今年ぜひチャレンジしたいことが一つあります。それは、おこづかいをためて、自分一人だけでいところに住んでいる東京へ新幹線に乗って遊びに行くことです。一人で新幹線に乗ることは不安ですが、自分で考えて行動できるようになりたいと思っています。

今年一年を健康に過ごし、勉強や遊び、いろいろな行事などに、自分なりに一生けん命に取り組み、充実した楽しい一年にしたいと思っています。



亥

わたしたちの

夢・未来

今年のえと「亥（いのしし）」にちなみ、市内の年男、年女の皆さんから
今年の抱負や将来の夢などを聞きました。



佐藤 恵梨子さん

東和町米川第1区・47歳（自営業）

わたしの夢や未来を聞かれると、やはり最初に頭に浮かぶのは4人の子どものことです。今年は長男が高校3年、二男が中学3年とそれぞれ進路を決める学年になります。本人次第なので親は心配することくらいしかできませんが、来年にはうれしい春を迎えたいものです。

次に二男と中学2年になる三男が、部活動で昨年より少しでも良い成績を残すことです。特に二男は卓球で中学最後となる中総体で優勝し、県大会に進出することが大きな目標となっています。このことは夫やわたしにとって、今年の大きな楽しみになりそうです。三男は入部して初めて経験したアーチェリーが、少しずつ上達して面白くなってきたところなので、良い成績を出してそれを自信につなげてほしいと思っています。小学5年生になる長女はまだまだ遊び盛りですから、けがをしないで元気に過ごしてもらっただけで十分です。

おばあちゃん、お父さん、わたしの3人の夢は、家族全員が健康でいられることです。今は商売と4人の子育てで3人ともフル回転しています。まだしばらくはこの状態が続くことになりそうですから、3人とも病気をしないで頑張っていきたい。のんびりと夢や未来を考えられるのは、何回目の亥年が巡ってきたときでしょうか。しばらくは子どもたちの成長がわたしの楽しみです。

子どもたち4人の成長が何よりの楽しみ

市民参加型のイベント・まちづくりに期待

津花 浩幸さん

米山町孤崎・35歳（会社員）

これから登米市がどのように発展していくか楽しみです。わたしは、子どものころから登米市の田園風景を見て育ちました。山から見るまちの景色は、まさに大地の恵みを実感します。

わたしは現在、市内の生活環境を整える仕事をしています。今、農業を取り巻く環境は厳しく、農業経営者の高齢化が進み、後継者が少なくなっているのも現実です。このような問題に対し、行政が積極的に指導・育成に取り組んでもらえたら、さらにより良い農業環境になると思います。これからは、時代を先取りした農業政策を打ち出して、日本の農業を登米市に引っ張ってほしいと思います。

昨年、市内のさまざまなイベントに参加し、いろいろな活動をしました。合併した現在、数多くのイベントがありますが、地域や文化財、自然あふれる場所、道の駅の有効利用も視野に入れ、市民と行政が一体となった参加型のイベント・まちづくりにも期待しています。これらが実現すれば、より一層観光客が増え、まちが活性化するのはないでしょうか。

昨年は痛ましい事件・事故が、連日テレビや新聞などで報道されました。今年は少しでも明るい話題が増え、平和な世界になることを願います。



及川 美江子さん

中田町十文字・35歳（自営業）

気が付けばわたしも今年で36歳。早いもので世の中では「中堅」と呼ばれる歳になり、自分が過ごしてきた年月の長さを今あらためて実感しています。わたしは夫と母の三人で写真館を営んでいます。店は近年の急激なデジタル化で、仕事の在り方が日々変化している中、その対応に追われる毎日を送っています。店には毎年、家族で撮影に来ていただいているお客さんがいます。今年はどうな写真にしようかと、わたしたち自身も楽しみにしていて、撮影のひとときを楽しんでもらいながら、「家族らしさ」を写真に収められるように努めています。

写真は生活必需品ではありません。なくても困らないものかもしれません。しかし、心のゆとりや豊かさ、楽しみといった部分とつながり、そのときを思い出し自分たちが過ごしてきた時間を振り返る大きな役割を担っていると信じています。そして一人でも多くの方々に、その楽しみを感じてもらえるお手伝いができたらいいなと思いつつ日々頑張っています。

出来上がった写真を見たときに浮かべるお客さんの笑顔がわたしたちの喜びであり、その笑顔をより多くの方々に広げていくことがわたしたちの夢でもあります。今、歩んでいる道が未来へつながる道だと信じ、今年も精一杯歩いていこうと思います。

心のゆとりや豊かさを写し出す写真で笑顔を

人と人をつなぐ「家」のような店を持ちたい

高橋 康広さん

南方町青島・23歳（会社員）

自分が思い描く夢は自分の店を持つことです。店にもいろいろありますが、自分は料理を作ることや人と話をするのが好きなので、居酒屋をやりたいと思っています。好きなことを仕事にしたいと思うことは、当たり前のことかも知れませんが、実現させることは簡単ではないといえます。しかし、小さいころからの夢でしたし、お客さんとの会話を通して自分が人間として成長していけると思っているので、ぜひ実現させたい。自分が生まれ育った登米市の食材を使って料理を作り、おいしいお酒、楽しい会話などで、お客さん一人一人に心から楽しかったと思ってもらえるような店にしたいと思います。

自分も月に何度か気の合った仲間と居酒屋で、お酒を飲みながらおいしい料理を食べ、何気ない会話を楽しんでいます。特に辛いことや悲しいことなどがあつたときは、相談したり話したりするだけで頑張ろうという力が出てきます。このようなときに人の温かさを感じ、人とのつながりが大切だということを実感します。

自分が目指す店は「人と人をつなぐ店」。これまで体験したこと、感じたことを生かし、店というよりもどこか懐かしい、温かみのある「家」「家庭」のような店にしたいです。そして、お客さんが疲れた体を休め、元気になってもらえればうれしいですね。





マークの使用に当たっては、補正、修正、文字の追加をすることがあります

登米市ブランド認証制度で
認証された農林産物に表示す
るシンボルマークを募集した
ところ、県内外から31点の応
募がありました。
応募された作品を11月29日、
JAみやぎ登米、JA南三陸、

ブランド認証 マークが決定

登米市ブランド認証制度で
産地・消費・生産・流通
業者の関与で構成する登
米市ブランド推進協議会（会
長・布施孝尚登米市長）で選
考した結果、採用作品が決定
しました。

採用されたのは、兵庫県穴
栗市の小柴雅樹さんの作品。
登米市の「と」をモチーフに
登米の緑あふれる大地から生
産された農林産物を消費者に
届けているイメージで、笑顔
が「安全」「安心」を表すデザ
インとなっています。

採用された小柴さんには、
市内の道の駅・直売所などで
使用できる5万円分の共通商
品券が贈られます。

また、優秀賞の杜多利香さ
ん（兵庫県神戸市）と松井乾
さん（滋賀県高島市）には2
万円分、優良賞の佐々木勝夫
さん（迫町）、高橋忠正さん
（迫町）、永井絵美さん（南方
町）には、1万円分の共通商
品券がそれぞれ贈られます。

登米市ブランドの認証につ
いては、品目ごとに基準を定
め、平成19年4月から認証申
請の受け付けを開始する予定
です。認証されたブランド産
品は、市ホームページなどで
紹介していきます。

なお、申請手続きなどの詳
細については、今後広報紙や
ホームページなどでお知らせ
します。

【問い合わせ】
産業経済部農林振興課
☎0220(34)2716

宝くじ助成で イベント用品 を整備

コミュニティ協議会などの10団体と市では、「平成18年度自治宝くじコミュニティ助成事業（宝くじ助成事業）」で、祭り用具や各種イベントで活用できる備品などを整備しました。

この事業は、財団法人自治総合センターが宝くじ受託収入を財源に、コミュニティ組織などの健全な発展と宝くじの普及広報を目的として実施されています。

購入した備品などは次のとおりです。



登米市後小路町内会で整備した
集会施設

実施団体名称	購入備品
北方コミュニティ推進協議会（迫町）	アンプ、チューナー、マイク、スポットライト、プロジェクター、プリンター、デジタルカメラ、物置、バレーボール支柱、グラウンドゴルフセット、ユニカール、ダーツセット、テント、タイマー
葛籠淵地区コミュニティ推進協議会（登米町）	宮太鼓、祭はんでん、はんでん帯
新町町内会（登米町）	宮太鼓、縮太鼓、テント、発電機、祭はんでん
金谷町内会（登米町）	宮太鼓、縮太鼓、祭はんでん
後小路町内会（登米町）	集会施設
上沼コミュニティ運営協議会（中田町）	物置、テーブル、テント、プロジェクター、担架、担架収納庫、司会台、ターゲットバードゴルフセット
長根町内会（豊里町）	アンプ、スピーカー、スピーカースタンド、CDデッキ、カセットデッキ、ミキサー、マイクセット、チューナー、チューナーユニット、アンテナ、カラオケセット
上町法印神楽保存会（豊里町）	神楽面、毛采、千早、篠笛、放送設備一式、バック幕、旗
桜岡地区コミュニティ推進協議会（米山町）	集会用テント、会議用テーブル、折りたたみイス
石越第13区自治会（石越町）	多目的広場整備、遊具・ベンチ設置、簡易倉庫
登米市	掲示板（南方町域3カ所）

初心を忘れず 一日一日を大切に 過ごしたい

橋 智雄さん

津山町平形・59歳（住職）



高橋 信子さん

迫町倉崎・71歳（主婦）

わたしの家は6人家族です。先日、孫から「来年はおばあさんの亥年だね」といわれ、あらためて自分の年齢を感じました。

これまでを振り返ってみると、平成2年に新田婦人会の会長の席につかせてもらい、会員皆さんの心温かい協力の下、はっと作りや一人暮らし老人の給食サービス、ボランティア活動など、楽しみながら婦人会活動を続けて18年目になろうとしています。その多くの活動の中で、わたしは生きがいとする宝物に出会いました。それは「EMボカシ」です。米糖、もみがらに沖縄で開発されたEMI、糖水を混ぜ合わせ、発酵させて肥料にしたものをボカシといいます。

平成7年に岩手県花巻市で行われた婦人会の研修会で、EMボカシを使って栽培した米や野菜は、体に大変良いとの話を聞きました。その研修でわたしは興味を持ってしまい、それ以来EMボカシを使った米や野菜作りに励んで13年。依頼されれば講師を引き受けて指導もしています。現在は息子と力を合わせて栽培し、家族全員で健康づくりに励んでいます。

安全安心な食材で、心と体の健康を考えると、わたしたちの使命ではないかと思えます。いつまでも心豊かで太陽のように明るく輝けるように。

心と体の健康を 考え安全安心な 食材を伝えたい





授業で取り組んだ環境保全活動を発表する北方小児童

生活排水対策重点地域水洗化促進宮城大会（登米・栗原市共催）が12月5日、登米祝祭劇場で開催され、両市の公衆衛生組合連合会員、保健活動推進員、食生活改善推進員ら約600人が参加しました。

地域が一体で環境保全活動

生活排水対策重点地域水洗化促進宮城大会



西村教授が「水環境と地域のかかわりについて」を講演

県は、長沼集水域と長沼の水質汚濁が進み、化学的酸素要求量（COD）が環境基準値を超えるとして平成4年、重点地域に指定。17年の調査では、長沼が基準値の5mg/l（年平均値）を超える9mg/l（同）で、全国ワースト5に入っています。布施市長は「県北は伊豆沼や長沼、北上川などを有し水辺環境に恵まれている地域。この素晴らしい自然環境を次の世代に引き継ぐためにも、一人一人の取り組みが大切です」とあいさつ。北方小や長沼川を考える会などの環境保全活動の発表、西村修東北大学教授の基調講演などが行われ、参加者は水質悪化への改善対策を探りました。

第48回水道週間作品コンテスト

市水道事業所では、水道に関する作品を募集したところ、図画、習字、作文、標語の部に、市内小中学生や一般の方から1,276点の応募がありました。表彰式は11月17日に開かれ、各部の特選・入選者に賞状などが手渡されました。

なお、特選・入選作品は日本水道新聞社主催の全国コンクールに出品され、作文小学生低学年の部で千葉沙彩さん（加賀野小1年）「みんなみんなありがとう」、同高学年の部で佐藤静香さん（石越小6年）「優しい子守歌の水を」、同中学生の部で後藤志緒莉さん（佐沼中2年）「一番うれしかったこと」の作品が入選しました。市内から出品した作品の全国入賞は6年連続となります。

作品コンテストの結果は次のとおりです。（敬称略）

【図画の部】（小学生低学年）特選＝伊藤愛梨（石森小1年）、入選＝工藤香里（鱒瀬小2年）、小松拓磨（新田第一小3年）、佐藤聖也（石森小1年）【同高学年】特選＝阿部佳菜子（南方小6年）、入選＝高橋晴香（加賀野小5年）、望月えみ（新田第一小6年）、岩澤祐弥（新田第一小6年）【中学生】特選＝米倉理恵（東和中3年）、入選＝山田結香（東和中2年）、小出さゆり（東和中3年）

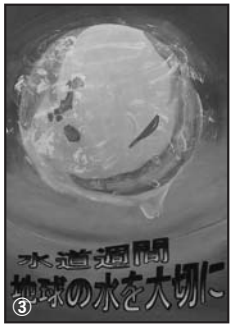
【習字の部】（小学生低学年）特選＝金美湖（豊里小3年）、入選＝後藤玲那（上沼小3年）、鮎澤つぐみ（中津山小2年）、小野寺翼（上沼小2年）【同高学年】特選＝後藤美鈴（上沼小5年）、入選＝佐々木睦美（南方小6年）、今野聖花（豊里小6年）、熊谷幸奈（石森小6年）

【標語の部】特選＝齋藤絢美（東和中3年）、入選＝佐々木美樹（米岡小6年）、矢部伸太郎（南方小6年）、西條岳彦（横山小6年）

【作文の部】（小学生低学年）特選＝千葉沙彩（加賀野小1年）【同高学年】特選＝佐藤静香（石越小6年）、入選＝千葉沙紀（加賀野小4年）、江畑優里（上沼小5年）、鈴木美咲、星沙奈枝（以上新田第一小6年）【中学生】特選＝後藤志緒莉（佐沼中2年）



① 図画特選（小学生高学年）阿部佳菜子②同（低学年）伊藤愛梨③同（中学生）米倉理恵④習字特選（小学生低学年）金美湖⑤同（高学年）後藤美鈴⑥標語特選 齋藤絢美



地球に返そう きれいな水 未来に残そう 豊かな水

⑥



参加者の伐採作業によって木が倒れる様子

森林の大切さや役割などを学ぶ「市民参加の新たな森林づくり（県、市共催）」が11月25日、登米町の森林公園で実施されました。4月の植樹に続く2回目の開催で、市内外から集まった植林ボランティア約50人が参加。今回はスギ林の間伐を体験しました。登米町森林組合の職員が「木が込みすぎると、太陽の光が地面まで届かないため、木の育ちが悪くなり、下草も生えなくなりやすくなります。それらの成長を助けるためにも、間伐は大変重要な作業。皆さんで実際に切ってもらい、何年か後に成長した木を見にきてほしい」と話しました。参加者は、4班に分かれて生育の遅れたスギの木に付けられた目印のテープがある木を、職員の指導でのごぎりを

使って伐採作業に挑戦。なかなか進まない作業に苦労しながらも、一本一本慎重に伐採しました。また、昼食後は会場をよま観光物産センター「遠山之里」に移し、（旬）わらぼうの遠藤凌子さんの指導で、炭を使った素材で癒しの和の空間を演出する「木炭アート」づくりを体験。モミジやトウガラシなどを使いながら飾り、親子で協力してオリジナルの作品を完成させました。



オリジナル作品が完成した木炭アートづくり

間伐体験で森林の大切さを 市民参加の新たな森林づくり

使って伐採作業に挑戦。なかなか進まない作業に苦労しながらも、一本一本慎重に伐採しました。また、昼食後は会場をよま観光物産センター「遠山之里」に移し、（旬）わらぼうの遠藤凌子さんの指導で、炭を使った素材で癒しの和の空間を演出する「木炭アート」づくりを体験。モミジやトウガラシなどを使いながら飾り、親子で協力してオリジナルの作品を完成させました。



出場者1,733人が白熱したレースを展開

第21回カッパハーフマラソン（同実行委員会主催）が11月26日、登米総合体育館前を主会場に開催されました。今年から日本陸上連盟の公認大会となり、前大会より2種目（公認ハーフ・公認10km）を増やした8種目28部門に、県内外から1,733人が出場しました。レースでは、公認ハーフ男子の部で佐川貴典さん、3歳中学生女子の部で千葉優香さん（ともに岩手県）が大会新記録を樹立。それぞれの部門でも小学生から大人まで力強い走りを見せ、沿道の観衆を沸かせました。また、恒例となったカッパ巻き作りには、多くの親子連れらが参加し、過去最長の121kmを完成させました。主会場では「とよま産業まつり」も同時に開催。とよま産の牛肉と豚肉の試食や地場産品などの販売コーナーも設けられ、大勢の人でにぎわった一日となりました。

歴史あるまちを駆け抜ける

カッパハーフマラソンとよま産業まつり



これまでで最長となる121kmのカッパ巻きが見事完成



▲婚礼の席には欠かせない「長持唄」を熱唱する参加者

永く歌い継がれている唄で

南方で長持唄全国大会

「第6回みやぎ長持唄全国大会（同実行委員会主催）」が12月10日、南方農村環境改善センターで開催されました。長持唄は古くから歌い継がれ、婚礼の席には欠かせない唄として全国各地で愛唱されている民謡です。大会には県内をはじめ長野県、佐賀県など全国から78人の長持唄愛好者が参加。それぞれが個性あふれる歌い方で自慢ののどを披露し、会場に詰め掛けた約600人の観客を魅了しました。なお、審査の結果、佐々木勉さん（南方町）が熟年の部で見事準優勝に輝きました。

笑いあり涙ありの劇に声援

つやま幼稚園で生活発表会

つやま幼稚園の生活発表会が12月2日、同園で開催され、園児や保護者ら約200人が参加しました。園児たちは、メロディーベルでの演奏や手話で「すうじの歌」を披露。遊戯では8つのグループに分かれて元気いっぱいに踊りました。また、年少と年長に分かれての劇では、はっきりとした口調でせりふをしゃべり、笑いあり涙ありの演技に会場から大きな声援が送られました。最後はクリスマスにちなんでサンタクロースが登場し、園児たちは大喜び。頑張って練習したご褒美となりました。



▲練習の成果を披露した園児たちに大きな声援が送られました

給食はどうやってできるの

豊里で学校給食センター見学・試食体験

給食の調理見学と試食を体験する催しが12月15日、豊里・登米学校給食センターで開催されました。給食用の食材が搬入される場所から、調理、配膳、下膳までの流れを地元の人に知ってもらおうと同センターが企画。地区住民、市関係者ら約40人が参加し、施設内の調理場などを見学しました。その後、栄養士から給食に使った食材の説明を受けながら、児童生徒が普段食べている給食を試食しました。参加者は「孫は魚が嫌いでしたが、給食で食べるようになってから好きになったようです」と話していました。



▲孫や子どもたちが普段食べている給食を試食する参加者

もちつきで防火を誓う

北上保育園で防火講習会ともちつき

防火講習会ともちつきが12月6日、北上保育園で開催され、園児や保護者ら約120人が参加しました。幼いころから防火の大切さを学んでもらおうと、同園が毎年実施している行事で、市消防署津山出張所の協力で開催。園児たちは、そろいの法被を着て消防署員の話の聞いたり、幼児向けの防火ビデオを見たりして、防火の大切さを学びました。また、講習会終了後には署員や保護者らと一緒に、きねと臼を使った昔ながらのもちつきに挑戦。大きな声で「火あそびしません」と誓いながら、元気になりました。



▲きねと臼を使った昔ながらのもちつきに挑戦する園児たち



▲懐かしむかのように石越産の農産物や加工品を買い求める在京者

郷土の味や芸能で昔懐かしむ

東京いしこし会総会・交流会

第13回東京いしこし会総会・交流会が12月2日、東京の東天紅上野店で開催され、石越出身の在京者ら約110人が参加しました。総会後に開催された交流会では、赤谷神楽会と石越民謡同好会の会員が郷土芸能や民謡を披露。参加者は昔を思い出しながら、懐かしそうに見入っていました。会場には地元農産物や加工品の販売コーナーが設けられ、ふるさとの味を買い求める人でにぎわいました。また、用意された石越の地酒「澤乃泉」を酌み交わしながら、昔の話や近況などを話す姿も随所で見られました。

夕マゴで交通事故ゼロ作戦

迫で冬の交通安全キャンペーン

「飲酒運転・高齢者の交通事故0（ゼロ）作戦」が12月18日、佐沼の錦橋近くで行われました。この活動は佐沼警察署の協力で、冬の交通安全活動の一環として実施。佐沼地区交通安全協会佐沼支部、佐沼交通安全母の会、佐沼婦人会、市迫地区交通安全推進協議会などの団体から15人が参加しました。参加者は、冬道の安全運転や飲酒運転の根絶、高齢者の事故防止などを通るかかったドライバーに呼び掛けながら、数字の0（ゼロ）に見立てた「ゆでタマゴ」とPR用のチラシを配りました。



▲ドライバーにゆでタマゴとチラシを配り交通事故ゼロを願いました

トピックス **プラス**

11/22

中学生が税への関心を作文で表現

納税表彰式（市納税貯蓄組合連合会主催）が11月22日、市役所迫庁舎で行われました。式では納税成績の向上に努めたとして、5団体と納税功労者2人に横山節雄会長（東和）が賞状と記念品を授与。市内10中学校から571作品の応募があった「中学生の税の作文」の入選者も発表され、最優秀賞に阿部智美さん（新田中）の作品が選ばれました。



▲「税について思うこと」を発表した阿部さん

12/3

風呂敷の良さ・使いやすさを見直す

昔からある風呂敷の良さを見直そうと、「昭和の布・ふろしき実演会」が12月3日、歴史博物館で開催されました。「ふろしき研究会」会員でもある同館職員が講師。参加した風呂敷愛好者15人は、歴史や語源の学習後、真結び、平包みなどの伝統的な結び方や、ウエストポーチ、巾着袋などにも挑戦し、風呂敷の多様な用途に感心していました。



▲風呂敷を使ってティッシュボックスカバーに挑戦

12/3

威風堂々の演奏に観客から盛んな拍手

陸上自衛隊東北方面音楽隊の演奏会が12月3日、ホテルニューグランヴィアで開催され、親子連れら約600人が集まりました。音楽隊は54人編成で、年間100回におよぶコンサートや演奏会を東北6県で実施しています。この日はアニメメドレーなど8曲を演奏。トロンボーンなどのソロ演奏もあり、会場から盛んに拍手が送られました。



▲音楽隊の迫力ある演奏を間近で鑑賞できました

12/9

夜回り先生が命の尊さを熱く語る

夜回り先生こと水谷修さんによる、人権講演会「病みゆく子どもたち」が12月9日、なかだアリーナで開催され、約2,000人が聴講しました。水谷さんは青少年の非行や薬物使用などに関するこれまでの相談話、深夜パトロールでの体験談などを講話。会場には一般の人のほか、中学生や高校生も大勢詰め掛け、真剣な表情で講演を聴いていました。



▲深夜パトロールなどの経験を熱く語る夜回り先生

マ 米山で姉妹都市交流事業
ラソンで友好を深め合う

市と姉妹都市の関係にある富山県入善町に、交流団（小中学生12人・ジュニアリーダー1人）が11月18日から20日までの3日間訪れました。交流団は「第14回扇状地マラソンINにゅうぜん」に参加。この大会は清流「黒部川」に造りだされた扇状地を駆け抜けるコースが魅力で、全国から毎年多くのランナーが参加しています。結果は中学生女子の部で千葉沙紀さん（米山中）が第8位、小学生男子・女子の部で橋本光晟くん（とよこ）と大柳麗さん（ともに中津山小）が第5位に入賞するなど、全員が完走しました。



▲大会では交流団12人全員が完走し地元の児童らと交流しました

手 東和で「米川てづくり文化祭」
てづくりの祭りで地域交流

“みごとに開花・かおり高い文化”をテーマに、「米川てづくり文化祭」が12月2、3日の両日、米川公民館で開催されました。写真や絵画の展示、舞踊、カラオケなどの発表を通して、地域住民の交流を深めることが目的で4回目の開催。ステージでは、米川聖マリア保育園の園児が遊戯を披露し、小さい体で元気いっぱいに踊り、会場から盛んな拍手が送られました。また、屋外では旬の野菜や果物を販売する地場産品コーナーなども設けられ、大勢の来場者でにぎわいました。



▲会場がひとときわ沸いた米川聖マリア保育園の園児による遊戯

淡 中田で室内楽交響曲演奏会
い灯りの中で交響曲を

第11回室内楽交響曲の世界「冬の調べ」が12月16日、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開催されました。東北大学交響曲楽団OBと木の家合奏団からピアノ、バイオリン、ビオラ、フルートの演奏者を迎え、日本の音楽をピアノとバイオリンの独奏を中心に、フルートを交えた室内楽交響曲が演奏されました。集まった100人の観客は、記念館の中庭に飾られた約3万5千個のイルミネーションが、淡い灯りの輝きを見せる中、静かで心に染みる音色をうっとり聴いていました。



▲クリスマスムードの漂う館内が美しい音色に包まれました



市民の広場

ぼくらの夢 No.21

教師になって命の尊さも伝えたい

「今、いじめが社会的な問題になっていきます。学校の先生になって命の尊さ、友達の大切さなどを子どもたちに伝えたい」と話す志緒莉さん。生徒のことを心から考える先生と出会ったことが、教師を目指そうと思っただけです。また、昨年授業の一環として職場体験で佐沼小を訪問したときに、児童との触れ



後藤 志緒莉さん (佐沼中2年) (迫町内町・芳一さん方)

合いの中で、自分が進みたい道を確信したそうです。

志緒莉さんは現在、吹奏楽部に所属しトロンボーンを担当。勉強も苦手な科目がなく友達からも人気があります。「夢を実現するためには勉強はもちろん、人の気持ちを考え何事にも責任を持つて行動できるように努力します」と笑顔で話していました。

市民の広場のコーナーでは、掲載を希望する人や情報を募集しています。広報係まで情報をお寄せください。

■総務部総務課広報係
 ☎9877-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
 ☎0220(22)2090 FAX0220(22)9164
 Eメール koho@city.tomeniyagi.jp

文芸

●2月号は短歌です。住所、氏名、電話番号を記入し、1月10日までご応募ください。
 ●応募者多数の場合は抽選で掲載します。

- 銀杏散る寺の裏庭首塚へ
 一際に色よきがあり枯野道
 枯野道歩む人影足ばやに
 影落す色濃き闇や冬の月
 威勢よき風伴ひて冬立てり
 さざ波の音にも浜の秋深し
 朝掃いて夕べまた掃く落葉かな
 箒目の庭をころがる柿落葉
 久闊の友と出逢ひて暮れ易く
 冬ぬくし施設の母の穩やかに
 北上川の空埋めつくし雁渡る
 冬の雨また同輩の訃報聞く
 濃淡の霧にしづみぬ津山杉
 手際よく皮剥く姫柿日和
 還暦を前のパソコン長き夜
 軒下の風甘くして柿すだれ
 吊橋の錆びしあたりに落紅葉
- 鈴木千佳(東和)
 春日悦子(東和)
 岸名和子(東和)
 佐藤昌子(東和)
 千葉ともゑ(中田)
 小野寺のぶ子(中田)
 佐々木つね子(中田)
 佐々木みつゑ(中田)
 山内成子(中田)
 山内菜穂子(中田)
 小野寺郁夫(中田)
 浅野のり子(津山)
 西條栄孝(津山)
 山田直信(津山)
 佐竹恒子(津山)
 西條とき子(津山)

整備士と交通安全指導隊員を両立 自分が整備した車で安全運転を

まちの若い衆 No.21



菊地 修さん (28歳) きくち おさむ 津山町元町第一区・しし座

▼身長と血液型 173センチ B型です。
 ▼現在は 家族で経営している菊地自動車で整備士をしています。以前は仙台で同じ仕事をしていたが、2年前に帰ってきました。また、昨年の春から町内の交通安全指

導隊にも入隊しました。自分が整備した車で安全に運転してもらいたいと思います。
 ▼自分の性格 のんびりタイプ。何をやるにもじっくりとマイペースでやります。
 ▼休日は 海釣りによく出掛けます。今の時期はハゼやタナゴが釣れます。
 ▼趣味は 映画鑑賞。暇さえあればDVDを借りてきて家で見ています。映画館で最近見た映画は「ダヴィンチコード」です。
 ▼理想の女性像 やさしい人。タレントでは仲間由紀恵さんがタイプです。
 ▼結婚は 30歳前半でしたいと思っています。
 ▼今やってみたいこと ハワイに行つて素晴らしい景色を見ながら釣りをすることです。

新刊紹介 =登米図書館= ☎0220(52)2316

■大人向け

「ふみ子の海」 市川信夫/著
 ふみ子は海を見たことがない。でも、海の夢なら見たことがある。

「少年時代」 池永 陽/著
 少年時代は毎日が冒険だった。昭和40年代初めの物語。

「男の子を伸ばす母親は、ここが違う!」 松永暢史/著
 カリスマ家庭教師が男の子を伸ばすための40の奥義を公開。

■子ども向け

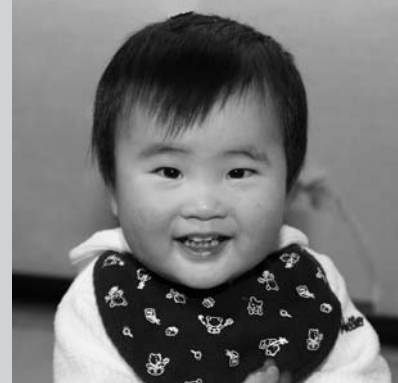
「ねずみくんとシーソー」 なかえよしを/著
 びくともしないシーソーをどうしたら動かせるの?ねずみくん。

「宇宙ステーションにかけた夢」 渡辺英幸/著
 日本初、たった一台しかない、人間が働く宇宙実験室「きぼう」。

「おしゃれトラブル①」 田沢梨枝子/著
 みんなの興味がいっぱいのおしゃれ。でもトラブルもあるんだよ。

※たくさん新刊が入りました。詳しくは市ホームページをご覧ください。

わが家のアイドル



芳賀 亮祐くん (登米町西針町) 平成17年4月30日生まれ (1歳) 秀二さんの二男
 亮祐くんの家はリンゴ園。お父さんが作ったリンゴを毎日おいしそうに食べます。お絵描きが大好きで、ペンを持ったらなかなか離しません。食欲旺盛でお兄ちゃんと仲良しの亮祐くんです。



佐藤 優衣ちゃん (中田町南加賀野) 平成17年6月17日生まれ (1歳) 剛さんの長女
 ブランコが大好きな優衣ちゃん。いつも近くの公園で遊んでいます。最近、家の電話に興味を持ち始め、受話器を取って「もしもし」ごっこをしています。優衣ちゃんのみそ汁が好物です。



後藤 庵くん (南方町沼崎) 平成17年11月25日生まれ (1歳) 彦さんの長男
 「モーモー」と家で飼っている牛の鳴き声のまねが得意な庵くん。ママが作るホットケーキが好物です。目を離すと、たんすの引き出しを全部引っ張ってしまう、いたずらっ子の庵くんです。



西條 玲世くん (豊里町西二ツ屋) 平成16年10月17日生まれ (2歳) 智也さんの長男
 玲世くんは車のおもちゃが大好き。特にコンボやブルドーザーなどの働く車がお気に入り。自分で分解することもできます。玲世くんの好物は、毎日必ず食べるアイスクリームです。

こちら地域医療連携室



医師が少ないということ (その2)

医師派遣が実現されない理由と大学の事情について今回は話します。これは、平成16年から始まった医師の研修制度の義務化に端を発しています。卒業研修が義務になり、新米医師は研修病院先を決める場合に、自分の希望と病院が出す条件でコンピューターが決める「マッチング」という制度を利用します。これにより、これまで70%以上が大学での研修でしたが、今年春は48%程度に落ち込んでいるのです。大学が選ばれなくなった原因として、市中病院の方が生活便利な都会だったり、研修内容や設備も立派で、忙しくとも多くの技術や病気の勉強ができ、給料を含めた条件も良いことがあります。

一方、大学は給料も安く、研修後、各専門の医局で大学院生(医師ですが学生)となっても、本業以外の雑用が多く、診療をしても給料をもらうどころか、逆に授業料を支払わなければなりません。研修医時代には出た給料が出ないので、疲れても週末、休息や家族サービスではなく、当直をして学費と生活費を得ているのです。ですから、最近では大学で博士号を取るより、市中の病院で研修して給料をもらいつつ専門医資格を取ったほうが実際役立つし、生活の質が良いと考える医師が多くなっています。

しかし、大学が敬遠され医師が少なくなると医学研究

が進まず、医療レベルが下がることとなります。ましてや地方に派遣する医師の余裕など全くなくなります。逆に、大学を支えるため、または医療と医師の集約化のため、地方の病院から医師を引き上げねばならないという構図があるのです。10月19日現在で大学病院の充足率は弘前大、岩手医大、秋田大が30%以下でした。これでは大学からの派遣医師で成り立っているほとんどの地域医療は、崩壊で当然です。これに産婦人科や小児科の過酷な労働と、すぐ訴訟になるような厳しい市民の権利意識のため、志望医師もいなくなることが追い討ちをかけているのですから。

今われわれは、この現状をとらえ地域医療を考える必要があります。大学からの医師派遣を期待できない状況で、お金は出したいけど24時間必要な医療を受けたいという発想は、100円しかないけどフランス料理のフルコースが食べたいと言うのと同じだと思いませんか。せめて市民皆さんの正しい理解のもと、市の医療予算を確保し、登米市の医療環境の整備を考えたいものです。

地域医療連携室 室長 千葉正典 (内科医師)

【問い合わせ】 市立佐沼病院 地域医療連携室
☎ 0220 (22) 5511(内線215) FAX 0220 (20) 7122

健康 & 福祉

1月の保健カレンダー

※時間は受付時間

迫		登米		東和	
迫保健センター ☎0220 (22) 5554		登米総合支所市民福祉課 ☎0220 (52) 5054		東和総合支所市民福祉課 ☎0220 (53) 4112	
11(木) 肝炎ウイルス検診	9:00~12:00	10(水) わいわい広場	10:00~11:30	22(月) なんでも健康相談	9:00~11:00
12(金) 結核・肺がん未検者検診	13:30~16:00	15(月) 健康(栄養)相談	8:30~11:30	23(火) こころの相談(要予約)	13:30~15:30
15(月) 子育て開放日・栄養相談日	9:30~12:00	24(水) わいわいサークル	10:00~11:30		
16(火) 離乳食教室(7カ月児)	8:30~9:30	30(火) こころの相談(要予約)	13:30~14:30		
18(木) こころの相談(要予約)	13:30~16:00				
中田		豊里		米山	
中田総合支所市民福祉課 ☎0220 (34) 2311		豊里総合支所市民福祉課 ☎0225 (76) 4113		米山総合支所市民福祉課 ☎0220 (55) 2112	
15(月) 1歳6カ月児健診(H17年6月生まれ)	12:30~12:45	12(金) 何でも健康相談	9:30~11:30	9(火) 健康相談	9:00~11:00
23(火) こころの相談(要予約)	13:30~15:30	こころの相談(要予約)	13:15~17:00	23(火) 2歳児歯科健診	12:45~13:00
25(木) 2歳児歯科健診(H16年12月・H17年1月生まれ)	13:00~13:10	25(木) 離乳食相談	9:45~10:00	25(木) こころの相談(要予約)	9:30~15:00
		2歳児歯科健診	13:00~13:15		
石越		南方		津山	
石越総合支所市民福祉課 ☎0228 (34) 2112		南方総合支所市民福祉課 ☎0220 (58) 2113		津山総合支所市民福祉課 ☎0225 (61) 5011	
11(木) こころの相談(要予約)	10:00~15:30	11(木) こころの相談(家族相談)	要予約	12(金) あそびの広場(開放日)	9:30~11:00
12(金) 男の料理教室	9:00~9:30	第4回南方もっこり元気講座	13:00~13:30	22(月) 健康相談(フィットネスルーム)	9:30~16:00
15(月) 健康相談	9:30~15:30	大腸がん検診検体回収	午前中(公認給食長)	26(金) あそびの広場(開放日)	9:30~11:00
25(木) 元気いしこし講座⑥	9:30~10:00	健康相談(断・南・給支所)	9:00~16:00	31(水) 2歳児歯科健診	13:00~13:15
		25(木) こころの相談(医師)	要予約		

不明な点は、各総合支所市民福祉課健康づくり係までお問い合わせください

ノロウイルスなどによる 感染性胃腸炎の感染警報発令

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、1年を通して発生はみられますが、11月から発生件数が増加しはじめ、12月から1月にかけてが流行のピークです。

今年はここ数年でもっとも早い流行の立ち上がりとなっています。嘔吐(吐くこと)、下痢、腹痛などの症状が見られる場合は早めに受診しましょう。

◆市内の感染性胃腸炎の発生状況は

県で1週間ごとに発表している感染症発生動向調査によると、登米保健所管内では11月27日の週から警報基準値を超えており、12月4日の週からは、県内全体で警報基準値を超えました。

◆感染から発症するまでの期間は

1~2日です。
◆どんな症状がでるの
吐き気、嘔吐(吐くこと)、下痢、腹痛があり、発熱は軽度です。感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もありますが、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は重症化することもあります。

◆どうやって感染するの

①調理する人が感染しており、その人を介して汚染した食品を食べた場合。
②汚染された食品(貝類など)を生あるいは十分に加

熱調理をしないで食べた場合。

③感染者のふん便や吐物から二次感染した場合や、家庭や共同施設など、人同士の接触が多いところで人から人へ直接感染するケースもあります。

予防のポイント

- ①せっけんと流水でよく手を洗いましょう。
- ②調理器具の洗浄、加熱消毒をしましょう。
- ③感染した人の便や嘔吐物(吐いたもの)には素手では触れないようにしましょう(使い捨て手袋・マスクを着用して行う)。
- ④食品は十分加熱して食べましょう(中心温度85℃・1分以上の加熱)。

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課 健康推進係
☎ 0220 (58) 2116

障害者就業相談のお知らせ

【相談日】 1月23日(火)
【場所・時間】 迫総合支所 午前10時~正午
 県登米保健福祉事務所 午後2時~4時
【申し込み】 予約制です。お住まいの総合支所市民福祉課
 市民福祉係へ申し込みしてください。
【問い合わせ】 福祉事務所社会福祉課 ☎ 0220 (58) 5551
 各総合支所市民福祉課 市民福祉係

1月の休日当番医

休日急患当番医 ☎ 0220 (22) 2084 (医師会)			
1/7(日)	よねやま病院	米山町	☎0220 (55) 2011
8(祝)	上杉皮膚科医院	迫町	☎0220 (21) 1380
14(日)	川村医院	登米町	☎0220 (52) 2166
21(日)	新田診療所	迫町	☎0220 (28) 3398
28(日)	島医院	南方町	☎0220 (29) 6056
2/4(日)	豊里病院	豊里町	☎0225 (76) 2023
診療時間 9:00~17:00 休日・夜間診療案内 ☎ 0229 (24) 2267 (24時間)			

母子健康手帳の交付・妊産婦相談

毎週月曜日 8:30~11:30

母子健康手帳は原則として、住所地の総合支所市民福祉課健康づくり係で交付します。上記以外においでの際は、事前にご連絡ください。

また、妊産婦の健康相談も行っています。気軽にご相談ください。電話での相談も随時、受け付けています。

大切な“いのち”を守るため 献血にご協力ください



1/5(金)	津山ふれあいセンター	10:00~12:00	全血
	豊里健康管理センター	13:30~16:30	
14(日)	イオン(株) ジャスコ南方店	10:00~12:00 13:00~16:00	全血
24(水)	迫リコー(株) ヨークベニマル佐沼店	10:00~13:00 14:30~16:30	

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課 健康推進係
☎ 0220 (58) 2116

県登米保健福祉事務所 (保健所) 健康相談など

各種相談・登録を行います。プライバシーは守られますので、安心して相談してください。

【1月の相談日】

期日	事業名	予約先電話番号
9(火)	骨髄提供希望者登録日	0220 (22) 6119
16(火)	引きこもり・思春期専門相談	0220 (22) 6118
18(木)	認知症専門相談	0220 (22) 6117
18(木)	精神保健福祉相談(こころの相談)	0220 (22) 6118
23(火)	骨髄提供希望者登録日	0220 (22) 6119
24(水)	アルコール家族教室	0220 (22) 6118

【相談料】 無料

【注意事項】 予約が必要です。日程など変更する場合がありますので、予約の際に確認してください。

【問い合わせ】

県登米保健福祉事務所
企画総務班
☎ 0220 (22) 7514

みやぎの中山間地 写真コンクール作品募集

里山に囲まれた、日本の原風景を思わせる農村風景や人々の生活を紹介します。中山間地の良さを分かち合ってもらえるような写真を募集します。

【応募資格】 アマチュアの人

【応募規定】 ①撮影場所＝宮城県内
②作品規定＝四つ切(ワイド可)のカラー写真。デジタルカメラでの撮影も編集をしていなければ可。
③応募作品＝未発表のもので1人1点に限る。
④人物が被写体の場合は、本人から応募について承諾を得ること。
⑤応募作品は返却しません。ただし、入賞作品以外の作品は切手を貼った返信用封筒同封の場合、返却します。
⑥入賞作品の著作権は主催者に帰属します。入賞者には事務局から通知します。

【応募方法】 写真の裏面に題名、撮影場所、撮影年月日、住所、氏名、

年齢、電話番号を添付の上、持参または郵送で申し込みください。

【応募締切】 2月28日(水)

※当日消印有効

【応募先・問い合わせ】

〒980-0011
仙台市青葉区上杉2-2-8
宮城県中山間地域活性化推進協議会事務局(水土里ネットみやぎ・総務企画部内)
☎ 022 (263) 5812

放送大学4月入学生募集

文部科学省・総務省所管の通信制大学で、衛星放送などを使い授業をしています。

【募集学生の種類】

- ◆教養学部＝①全科履修生(4年以上在学) ②選科履修生(1年間在学) ③科目履修生(6カ月間在学)
- ◆大学院＝④修士選科生(1年間在学) ⑤修士科目生(6カ月間在学)

【応募資格】 ①、④、⑤は満18歳以上、②、③は満15歳以上

【募集期限】 2月15日(木)

【資料請求(無料)・問い合わせ】

放送大学宮城学習センター
☎ 022 (224) 0651
※大学のホームページ(<http://www.u-air.ac.jp/>)からも資料の請求ができます。

パソコン相談室

パソコンで困っている人のために、無料相談会を開催します。パソコンの持ち込みが可能な人は、持参してください。

【日時】 1月21日(日)

午前10時～正午

【場所】 米山公民館2階農事研修室

【申込期限】 1月19日(金)

【申し込み・問い合わせ】

NPO法人パソコン・ネット・みやぎ
☎ 0220 (21) 5262

登米祝祭劇場 1月のイベント情報

登米祝祭劇場
☎ 0220 (22) 0111

◇浅野初江ちぎり絵展

4日(木)～31日(水)

午前10時

【入場料】 無料

【問い合わせ】

登米祝祭劇場
☎ 0220 (22) 0111



◇えほん・おもちゃであそぼう!!

17日(水) 午前10時

【入場料】 親子 300円

【問い合わせ】

NPO法人 すくすく保育研究所
☎ 090 (2999) 8253

◇ほうねん座創立40周年記念作品

「いのち輝めく睦人の祝祭」

19日(金) 午後6時30分

20日(土) 午後1時30分

午後6時30分

【入場料】 前売り 大人3,000円

小・中学生1,000円

【問い合わせ】

ほうねん座公演実行委員会
☎ 0220 (34) 5887

◇佐沼小学校吹奏楽部設立20周年

記念コンサート

28日(日) 午後1時30分

【入場料】 無料

【問い合わせ】

佐沼小学校
☎ 0220 (22) 2740



堀内 理央ちゃん
(迫町本田・昌和さん)



高橋 創くん
(南方町北大畑・敏さん)



千石 卓人くん
(米山町新町・光江さん)



北浦 白葉ちゃん
(米山町山吉田・成仁さん)



大友 奏美ちゃん
(迫町一市・清二さん)



中村 風伽ちゃん
(迫町新町・由美さん)



武山 千夏ちゃん
(迫町鉄砲丁・秀一さん)



尾形 くれあちゃん
(迫町新町・真さん)



堀田 翔夢くん
(中田町境堀・正弘さん)



鈴木 敏也くん
(中田町大柳・有さん)



佐藤 健太くん
(中田町八幡山・貴光さん)



河原 拓未くん
(迫町萩洗・正樹さん)



小野寺純とくん
(中田町蓬田・純さん)



布施 帆海ちゃん
(中田町表・孝介さん)



小野 桜ちゃん
(中田町南加賀野・浩二さん)



堀田 登夢くん
(中田町境堀・正弘さん)



高橋 幸太くん
(石越町駅前・和也さん)



涌澤 優亮くん
(石越町駅前・潤さん)



羽生 大輝くん
(中田町浅水新田・信彦さん)



山内 慈子ちゃん
(中田町小島・郁雄さん)



高橋 莉子ちゃん
(中田町加賀野一區・卓也さん)



山本 実永くん
(東和町米川第6区・玲子さん)



及川 愛斗くん
(東和町錦織第1区・奈美さん)



佐藤 望美ちゃん
(東和町米谷第3区・隆行さん)



工藤 惟仁くん
(石越町長根・喜大さん)



12月15日までの
3歳児健診(3歳
6カ月～7カ月児)で
おし歯がなかった子は、
市内6地区で
57人中25人でした



はたちの献血 キャンペーン実施中

1月1日から2月28日までの2カ月間「はたちの献血キャンペーン」を実施します。

「はたち」の記念に献血にチャレンジしてみませんか。

県内で必要なすべての血液製剤を県民の献血により確保することを目指しています。冬季は特に血液が不足しています。「献血は身近にできるボランティア」です。ご理解とご協力をお願いします。

また、輸血の安全性を高めるため、400ml 献血へのご協力をお願いします。

【問い合わせ】

市民生活部健康推進課
健康推進係
☎ 0220 (58) 2116



除雪作業に ご協力ください

冬期間の道路交通確保、スリップ事故防止などのため、除融雪作業を各町域で実施します。

なお、市道の除雪に際し乗入口に雪だまりができた場合は、その除去について、市民皆さんのご協力をお願いします。

【除雪作業】 基本的に、各総合支所での新降雪深10cm以上で実施。ただし、気象情報や降雪状況を総合的に判断し、必要と認めた場合は実施します。

【融雪剤】 幹線的な坂道、日陰、交差点、カーブなどに融雪剤保管箱を設置 ※各総合支所に除雪マップを備えています。詳しくは各総合支所地域生活課へ問い合わせください。

【問い合わせ】

各総合支所地域生活課
産業建設係

インターネット公売を開始

市では、市税の滞納で差し押さえた不動産をインターネット公売(Yahoo!オークション) で実施します。

【公売物件】

- ▶土地：登米市東和町米川字町裏72番地ほか6筆 8,578.40㎡
- ▶建物：鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建工場など 1,282.17㎡

【公売保証金および見積価額】

- ▶公売保証金：994,000円
- ▶見積価額：9,940,000円

【公売参加申込期限】

1月10日(水) 午後5時まで

【入札期間】

1月17日(水) 午後1時～
1月23日(火) 午後1時
※1回のみ入札可能

【公売場所】

Yahoo! オークション
※詳しくは公売公告または市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

総務部徴収対策課
徴収二係 ☎ 0220 (22) 2169

【URL】 <http://www.city.tome.miyagi.jp/kobai/netkobai.html>



国民年金だより

平成18年分の源泉徴収票が送付されます

国民年金、厚生年金保険および共済組合などから支給される老齢または退職を支給事由とする年金は、所得税法の規定上「雑所得」として取り扱われ、課税の対象になります。

老齢基礎年金、老齢厚生年金、通算老齢年金などの老齢年金を受け取っている人には、平成18年中に支払われた年金の総額、社会保険料の金額(介護保険料額)、源泉徴収税額および控除内容などが記載された「公的年金等の源泉徴収票」が、1月末までに社会保険業務センターから送付されます。この「公的年金等の源泉徴収票」は確定申告をするときに必要になりますので、大切に保管してください。

次に当てはまる人は、年金から源泉徴収されていても確定申告をする必要があります。

- 2つ以上の年金の支払者に対して「扶養親族等申告書」を提出したとき
 - 年金以外に給与などの所得があったとき
- また、生命保険料控除や医療費控除など、源泉徴収で受けられなかった控除があるときは、確定申告をすることで還付を受けられる場合があります。 ※障害年金や遺族年金については課税対象となっていないので、源泉徴収票は送付されません。 ※年の途中で死亡した人の「公的年金等の源泉徴収票」は送付されません。 必要なときは「ねんきんダイヤル(☎0570-07-1165)」または、管轄の社会保険事務所へ問い合わせください。

【問い合わせ】 市民生活部市民課 ☎ 0220 (58) 2118

古川社会保険事務所 ☎ 0229 (23) 1200



新春講演会

【日時】 1月22日(月)
午後3時～5時

【場所】 ホテルニューグランヴィア(迫町)

【演題】 今後の景気・経済の見通しと中小企業の活路を探る

【講師】 増田正敏さん(東京国際大学教授、エコノミスト、税理士)

【入場料】 無料

【定員】 100人

【申込方法】 電話で申し込みください。

【申込期限】 1月18日(木)

【申し込み・問い合わせ】

(社)登米法人会

☎ 0220 (22) 6617

陶芸教室 お雛さまを作ませんか

【日時】 1月28日(日)、29日(月)
午前10時～正午

【場所】 林林館2階

【参加費】 2,000円程度

【募集人員】 各回20人

【講師】 瑞樹窯 笠 政彦さん

【申込方法】 電話で申し込みください。

【申込期限】 1月26日(金)

【申し込み・問い合わせ】

林林館

☎ 0220 (45) 1821

林林館・森の茶屋

☎ 0220 (45) 1218



チャチャワールドいしこし 冬季特別営業

3月3日まで休園期間中ですが、1月と2月に特別営業します。

【開園日時】 元日を除く1月・2月の日曜、祝日▶1月＝7日、8日、14日、21日、28日▶2月＝4日、11日、12日、18日、25日

午前10時～午後4時

1月10日は110番の日

110番 地域を守る ホットライン
知ってますか? 警察相談 #9110



【110番通報のポイント】
警察官が次のような確認をします。
落ち着いて教えてください。

- Q 何がありましたか?
- Q いつですか?
- Q 場所はどこですか?
- Q 犯人は?
- Q 今はどうなっていますか?
- Q あなたの、住所、氏名、電話番号は?

【携帯電話からの110番通報のポイント】

- ◇立ち止まって通報する。
- ◇携帯電話からと申告する。
- ◇通話が終了しても(途切れても)電源を切らない。
- ◇車の運転中は、安全な場所に停車してから通報する。

佐沼警察署・登米警察署

【入園料】

大人(高校生以上)320円
子ども(小・中学生)110円

【アトラクション料金】

一律100円
【その他】 開園日ごとに、いろいろな遊びができます。詳しくは、直前のホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

チャチャワールドいしこし
☎ 0228 (34) 2221

【URL】

<http://www.chachaworld.jp/>

バリアフリー ボウリング大会 参加者募集

迫町手をつなぐ育成会と共催で、障害のある人とその家族のボウリング大会を開催します。

【日時】 2月17日(土)

午前10時～午後1時30分
※午前9時30分から受け付け

【場所】 ワコーボウル(迫町)

【対象者】 障害のある人とその家族

【参加料】 障害のある人＝無料
家族＝1人300円

【募集人員】 35人(先着順)

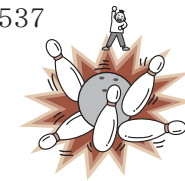
【申込方法】 電話で申し込みください。

【申込締切】 2月9日(金)

【その他】 会場までの送迎は家族でお願いします。

【申し込み・問い合わせ】

市社会福祉協議会 迫支所
☎ 0220 (22) 3537



社会保険相談所開設

健康保険、国民年金など社会保険全般について相談に応じます。

【1月の開設日】 1月17日(水)

【時間】 午前9時10分～正午
午後1時～3時30分

【場所】 迫公民館

【問い合わせ】

古川社会保険事務所
☎ 0229 (23) 1200

奨学生を募集します

市育英資金・浅野兄妹奨学資金

市育英資金および浅野兄妹奨学資金は、平成19年4月以降に下記の校種に入学する人で、経済的理由により修学が困難な人に奨学金を貸し出すものです。

【校種】 国内の高等学校、専門学校、高等専門学校、短期大学、大学(大学院を除く)

【申込資格】 家計・学力・人物が、基準に合致していること。

◆家計

世帯の1年間の総所得金額(申し込みの前年)が、別表に定める基準以下であること。

※総所得金額とは、所得税法第23条から第35条までに規定する各所得の合計額をいう。ただし、同法による所得控除のうち、雑損控除、障害者控除、寡婦控除、寡夫控除が該当する場合は、これらの控除額を合計額から差し引いた後の額とする。

(別表)

区分	基準額	
世帯人員	2人	2,670千円
	3人	3,080千円
	4人	3,350千円
	5人	3,610千円
	6人	3,790千円
	7人	3,960千円

※世帯人員が8人以上の場合は、1人につき170千円を加算する。

◆学力

成績が学年評定3.5以上で、かつ、最終学年における成績が上位50%以内に入っていること。

※スポーツ、芸術などで卓越している人または特に向学心旺盛で学校長が推薦する場合は考慮する。

◆人物

市内に3年以上在住し、現に生計

の基礎が市内にある人で、心身ともに健康な人。

【貸付月額】

区分	高校生	専門学校生、高等専門学校生、短大生、大学生
自宅通学者	1万円以内	4万円以内
自宅通学者以外	3万円以内	5万円以内

【貸付期間】

高校生 専門学校生 大学生	4年以内
高等専門学校生	5年以内
短大生	2年以内

【貸付方法】 年2回以内、奨学生本人の預金口座(郵便局・漁協を除く)に振り込みます。

【償還方法】 年賦、半年賦、月賦

上杉奨学金

上杉奨学金は、市内に在住する高校3年生や社会人などで大学へ進学を希望する人、現在大学に在学中で学資の支払いが困難な人に奨学金を貸し出すものです。

【校種】 大学

【採用者数】 年間3人以内

【優先順位】 貸し付けの順位

第1位	大学生(在学学生)
第2位	社会人
第3位	高校生

【貸付年額】 50万円以内

【貸付期間】

医学部 獣医学部以外	4年以内
医学部 獣医学部	6年以内

【貸付方法】 年1回、奨学生本人の預金口座(郵便局・漁協を除く)に振り込みます。

【償還方法】 年賦、半年賦

◆共通事項

【募集期間】

2月1日(木)～3月23日(金)

【保証人】 必要

【奨学資金の償還】

◇奨学資金は無利子ですが、貸付金ですので奨学生本人からの全額償還が原則です。

◇卒業、進学先、就職先を条件とした償還免除制度はありません。

◇償還期間は10年以内。

【選考方法】 奨学生選考委員会で審査を行います。

※採用にならない場合もあります。

【奨学生決定時期】 4月

詳細は、教育委員会教育総務課または各教育委員会事務所に問い合わせしてください。

【申し込み・問い合わせ】

教育委員会教育総務課 財務係
☎0220(34)2670
各教育委員会事務所

1月26日は文化財防火デー

1月26日は文化財防火デーです。

昭和24年1月26日に法隆寺金堂の壁画が焼け、貴重な文化的遺産が灰となりました。このため国では、この日を「文化財防火デー」と定めて、文化財を火災から守るため文化財防火運動を進めています。

かけがえのない文化遺産を後世に残すため、みんなの手で火災を防ぎましょう。

◆平成19年文化財防火デー防災訓練

【日時】 1月21日(日)午前9時～
【会場】 旧登米高等尋常小学校校舎敷地内

【問い合わせ】

教育委員会生涯学習課
文化振興文化財保護係
☎0220(34)2698

償却資産申告書を提出してください

平成19年度の償却資産の申告時期になりました。事業で使われる償却資産を所有している人は、賦課期日(平成19年1月1日)現在の償却資産について、1月31日(水)までに申告書の提出をお願いします。

固定資産税が課税される償却資産は、土地・家屋以外の事業で使用される資産(構築物、機械および装置、車両および運搬具、工具・器具および備品など)です。

早めの申告をお願いします。

【問い合わせ】

総務部税務課 固定資産税係
☎0220(22)2163
各総合支所地域生活課 地域係

油類の取り扱いに注意してください

油が流出する事故が増えています。家庭のホームタンクなどの取り扱い

に注意してください。

◆転倒や油の流出に対する対策は万全か点検しましょう。

①タンクを設置する場所の補強やチェーンなどによる転倒防止の対策は大丈夫ですか。

②タンクと配管の結合部分は、タンクが揺れても損傷しないような構造になっていますか。

③万一、タンクから油が漏れた場合のために、囲い(防油堤)を設置していますか。

◆油を取り扱うときには十分に注意をして、目を離さないように。

ホームタンクからポリタンクに移し替えている最中に目を離したり、移し替えた後にホームタンクのバルブを閉め忘れていたりしたために油が流れ出した事故が発生しています。

◆もしも油が流出したらすぐに連絡してください。

自分できれいにしたつもりでも、地面に染み込んだ油が時間が経ってから水路に流れたことや、雨が降ったときに出てきたこともあります。

もしも油が流出したら、すぐに市役所または消防署に連絡してください。
◆家の前の水路や道路の側溝の水も川に流れていきます。

川の水は水道用水や工業用水、農業用水に使われています。

わたしたちの暮らしと豊かな自然を守るためにも十分注意してください。

【連絡先・問い合わせ】

市民生活部環境課 環境保全係
☎0220(58)5553
消防署
☎0220(22)0119
北上川下流河川事務所
☎0225(94)9852



▲川に流出した油の吸着マットによる回収作業

飼い犬には愛情と責任を

良い飼い主になれますか? 良い飼い主になれていますか?

◆飼い犬の狂犬病予防注射はお済ですか

犬を飼うためには、狂犬病予防法に基づく登録と狂犬病予防注射が義務付けられています。

【犬の予防注射の義務】

▶狂犬病はいまだに世界各地で、毎年3万～5万人の命をうばっており、世界的に見ると犬が人への感染源となるケースが圧倒的に多くなっています。すべての犬が予防接種を受けておくことで、万が一この怖い病気が日本に侵入したときでも、犬に流行することを未然に防ぐことができます。毎年一回の予防注射は犬を飼っている人の務めです。

【犬の登録(一生に一回)の義務】

▶生後91日以上の犬は生涯1回の登録が必要です。これは、狂犬病が発生したときの対応を敏速・適切に行うためです。

◆マナーを守りましょう

【散歩の仕方について】

▶散歩中に他人の土地や公共施設(公園・河川・道

路など)でフンの処理をしない飼主がいます。散歩は、犬が運動する機会とし、フンは自宅で済ませるようにしつけ、どうしても散歩中にフンをする場合は、袋とスコップを持参して、自宅へ持ち帰ることが飼主の義務です。

【放し飼いについて】

▶放し飼いは絶対にしないでください。散歩中に鎖から手を放すことも同様です。「うちの犬はおとなしいから」と放すと、じゃれて人に飛びついたときに怪我をさせたり、恐怖を与えたり、あるいは、物を壊したりする危険があります。当然、かみつくような問題が起こってからでは遅く、交通事故の危険もあります。

◆問い合わせ

市民生活部環境課 衛生係
☎0220(58)5553
各総合支所地域生活課 地域係



市からの お知らせ

市営住宅入居者募集

◆津山宮町住宅
(津山町柳津字黄牛田高畑22番地1)
募集戸数 1戸(3K)
家賃月額 10,300円~17,100円
【申し込み】 津山総合支所
地域生活課 産業建設係
【募集対象者】
現に住宅に困っている世帯

【入居資格】
①入居収入基準が20万円未満であること(世帯全員の合計所得額から計算します)。
②同居する親族がいること(婚姻予定も可)。
※原則として単身での入居はできませんが、50歳以上の人、身体障害者手帳1級から4級までを所持している人は単身入居することができます。
③入居者全員に市税の滞納がないこと。
【申込期限】 1月19日(金)期限厳守
【問い合わせ】
建設部建築課 住宅管理係
☎ 0220 (34) 2316

トレーニングルーム 利用者講習会

1月26日(金) 午後7時~
定員50人(要予約)
【受付開始】 1月9日(火)
【問い合わせ】 なかだアリーナ
☎ 0220 (34) 7302

市環境キャラクターの デザイン募集

地球の温暖化を止め、環境と産業が共生した富める地域づくりを進めるために、シンボルとなる環境キャラクター「トメル君」と「オトメちゃん」のデザインを募集します。

【応募資格】 市内に在住または通勤・通学している人

【応募規定】

- ①A4版の紙1枚に「トメル君」(男)と「オトメちゃん」(女)の2人を描いてください。表情やスタイル、服装、色彩などは自由とし、背景は審査の対象にしません。縦書き・横書きは自由で、手書き、パソコンなどによるプリントアウトのいずれでもかまいません。
- ②1人3作品まで応募できます。
- ③1作品ごとに、裏面へ住所、氏名、年齢、学校名、学年、市外に住んでいる人は市内の勤務先などを明記してください。

【募集期限】 2月28日(水)

【応募方法】 市民生活部環境課各総合支所地域生活課地域係に持参

(閉庁日を除く)または郵送してください。

【選考方法】 応募された作品の中から市長賞1点、入選9点以内の計10点以内を選考します。入賞者には4月末日までに通知し、9月に開催を予定している記念式典で表彰します。

【その他】

- ①作品は自作の未発表作品で、既存のキャラクターとは類似しないものに限りま。
- ②応募作品は返却しません。
- ③市長賞受賞作品を採用作品とし、採用作品に関する一切の権利は市に帰属します。
- ④採用作品およびその補正作品(使用目的に合わせて表情やスタイル、服装、色彩などを变化させた作品をいいます)は、広報などで幅広く活用します。

【応募先・問い合わせ】

〒987-0401
登米市南方町新高石浦130
登米市市民生活部環境課
環境保全係
☎ 0220 (58) 5553

平成18年度 第4回地域審議会開催

■開催日程

審議会名	開催日	開催時間	場 所
迫地域審議会	1月24日(水)	午後1時30分~	迫公民館1階研修室
登米地域審議会	1月30日(火)	午後1時30分~	登米庁舎2階庁議室
東和地域審議会	2月1日(木)	午後1時30分~	東和総合支所3階委員会室
中田地域審議会	1月29日(月)	午後1時30分~	中田庁舎1階101会議室
豊里地域審議会	2月2日(金)	午後1時30分~	豊里多目的研修センター青年研修室
米山地域審議会	1月31日(水)	午後1時30分~	米山総合支所2階大会議室
石越地域審議会	2月2日(金)	午前9時30分~	石越総合支所2階多目的ホール
南方地域審議会	1月23日(火)	午後2時00分~	南方庁舎2階大会議室
津山地域審議会	1月26日(金)	午後1時30分~	津山総合支所2階会議室

※地域審議会はどなたでも傍聴できます。

■内容 ・(仮称)登米市協働のまちづくり指針(案)などについて
・地域の課題について

■問い合わせ 企画部企画調整課 まちづくり推進係 ☎ 0220 (22) 2147
各総合支所地域生活課 地域係

平成19年度非常勤職員・ 臨時職員の登録者募集

平成19年度の非常勤職員(一般職)、臨時職員の登録者を募集します。

採用者は、登録された人の中から必要に応じ選考を行い、決定します。

【主な職種】 保育士・児童館指導員・栄養士・幼稚園講師・看護師・准看護師・調理員・事務補助員など

【募集期間】 1月9日(火)から受け付けます。ただし、4月採用者については2月16日(金)までです。

【登録の方法】 所定の登録申請書に必要事項を記入の上、人事課にお申し込みください。登録用紙、募集要領は人事課と各総合支所で配布するほか、市のホームページからもダウンロードできます。郵送による応募もできます。

【申し込み・問い合わせ】

〒987-0511
登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
登米市総務部人事課 人事給与係
☎ 0220 (22) 2145

【URL】 <http://www.city.tome.miyagi.jp/>

POWERヨガ体験会 参加者募集

一般的なヨガに筋力トレーニングなどの要素を取り入れて改良したパワーヨガの体験会を開催します。

【日時】 1月26日(金)
午後7時30分~8時30分

【場所】 市民プール2階
フィットネススタジオ

【定員】 15人(先着順)

【参加費】 1,500円

【申込方法】 参加費を添えて、市民プール内の受付で申し込みしてください。
※電話での申し込みは受け付けません。

【申し込み・問い合わせ】

市民プール ☎ 0220 (22) 5492

迫図書館 1月のおはなし会

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。

【日時】 1月20日(土)
午前10時30分~

【場所】 迫図書館 2階研修室

【問い合わせ】 迫図書館
☎ 0220 (22) 9820

消費生活出前相談

各総合支所で、消費生活についての相談や苦情を聞き、解決するための手伝いをします。

【1月の相談日】

開催日	開催場所
5日(金)	迫総合支所
11日(木)	南方総合支所
12日(金)	登米総合支所
15日(月)	東和総合支所
18日(木)	豊里総合支所
22日(月)	米山総合支所
25日(木)	石越総合支所
29日(月)	津山総合支所

【時間】 午前10時~午後3時

【相談料】 無料

※相談日以外は、商工観光課で相談員が応じています。

【問い合わせ】

産業経済部商工観光課 商工振興係
☎ 0220 (34) 2734

犬・猫引き取り日

◆1月18日(木)

(登米・豊里・米山・南方・津山)

◆1月25日(木)

(迫・東和・中田・石越)

※受け付けは午前9時30分まで

【持ってくるもの】

印鑑、鑑札(犬の場合)

【受け付け・問い合わせ】

各総合支所地域生活課 地域係

お知らせの 問い合わせ先

登米市役所	☎0220 (22) 2111
迫総合支所	☎0220 (22) 2213
登米総合支所	☎0220 (52) 2111
東和総合支所	☎0220 (53) 4111
中田総合支所	☎0220 (34) 2311
豊里総合支所	☎0225 (76) 4111
米山総合支所	☎0220 (55) 2111
石越総合支所	☎0228 (34) 2111
南方総合支所	☎0220 (58) 2111
津山総合支所	☎0225 (68) 3111

1月の納税

国民健康保険税 8期

納期限 1月31日(水)

忘れずに納めましょう

※口座振替の人は、通帳の残高を確認してください。

1月の夜間相談窓口開設日

【日時】 1月25日(木)
午後8時まで

【場所】 市役所迫庁舎1階
総務部 徴収対策課

登米市のデータ

人口・世帯数
(平成18年11月末現在)

地区	世帯数	人口		
		男	女	計
迫	7,188	10,785	11,496	22,281
登米	1,837	2,714	3,028	5,742
東和	2,578	3,935	4,121	8,056
中田	4,580	8,100	8,602	16,702
豊里	1,991	3,480	3,639	7,119
米山	2,866	5,300	5,533	10,833
石越	1,595	2,897	3,007	5,904
南方	2,486	4,483	4,807	9,290
津山	1,220	1,986	2,112	4,098
合計	26,341	43,680	46,345	90,025

「道の駅米山」の入口で、訪れる人々たちを威風堂々と出迎えているのが、米山町中津山出身の第三代横綱丸山権太左衛門（本名・芳賀銀太夫）の銅像です。この銅像は丸山の功績を世にたたえようと、彫刻家の海野健治さん（米山町桜岡出身）が制作し、平成10年に道の駅のオープンと同時に披露されました。

仙台藩出身の力士が江戸相撲の中

ふるさと訪ねある記



「第三代横綱丸山権太左衛門の銅像と丸山堂」

問い合わせ：【銅像】道の駅米山 ☎ 0220 (55) 2747
【丸山堂】松寿院 ☎ 0220 (55) 1141

心だつたところに力士を志した丸山は、17歳で江戸へ上り、仙台藩出身の名力士・七ツ森折右衛門の下に入門しました。そのころすでに身長は六尺五寸（約197センチ）、体重四十三貫（約166キログラム）、手形は八寸（約24センチ）あつたといわれ、1749年（寛延2年）、37歳で横綱の免許を取得しましたが、その3カ月後に巡業先の長崎で悲運な死を遂げました。

お墓は長崎市にあります。丸山町中津山の松寿院境内には、遺髪や遺品を納めている「丸山堂」があり、墓碑が建てられています。



道の駅米山の入口に威風堂々とそびえ立つ丸山権太左衛門の銅像

米川の水かぶり 2/4(日)・5(日)

ところ

〔前日祭〕東和町米川公民館
〔本祭〕東和町米川市街地・大慈寺山門前広場

内容

- 〔前日祭〕4日(日)
午後1時30分～7時
■丸山太鼓 ■沼鹿踊り ■芸能祭
■防犯防災コーナー
■ふるさと自慢市
〔本祭〕5日(月)
午前9時～午後0時30分
■水かぶり本祭り ■はしご乗り
■ふるさと自慢市



【問い合わせ】
'07米川の水かぶり実行委員会 庶務 及川 ☎ 0220 (45) 2332

第29回佐沼どんと祭

日時 1月14日(日)

【裸参り】午後6時30分～
【点火】午後7時～

場所 羽黒神社
津島神社

※当日は午後6時から8時までの間、一市・八日町通りの車両通行はできません。車でお越しの際は登米合同庁舎駐車場をご利用ください。

【問い合わせ】
登米中央商工会 ☎ 0220 (22) 3681



編集室から

▼明けましておめでとうございませう。2007年がスタートしました。登米市も3年目、合併の真価が問われる年になりそうです。「広報とめ」も、より皆さんから親しまれるよう係一同気を引き締めて編集します。今年もご愛読願います。▼年末、今月号に掲載した亥年の皆さんから話を聞きましたが、わたしも年男。今年は新しいことに挑戦し突進していきます。(平井)

歴史博物館

広報ミニ展示室

=へどごま(どんぶりごま)=



昔から伝わるへどごまは登米地域の貴重な宝物です。(高橋伸至氏寄贈・博物館所蔵)

「へどごま」は別名「どんぶりごま」ともいわれています。平成17年、博物館職員が迫町板橋区へ調査に行った際に見つけた玩具で、これまでどこでも紹介されることがありませんでした。このへどごまは、親が子へ年上の者が小さい子どもへと伝えてきたもので、ナタとノコギリを使って生木・杭棒などから作られます。手作りのこまは手になじみやすく、市販のこまよりも扱いやすくなっています。身近にある材料を加工して玩具にした技術と創造性、遊びを通して培われる子どもたちのつながりなどが伝わってきます。